

わたし達の郷土

石内の略年表

—平成26年（2014年）—

この「石内の略年表」は、原始時代から、平成26年の現在まで、私たちの郷土「石内の歩み」をわかりやすく、五日市地区、（佐伯区）広島の動きとともにとらえられるように年代順に並べたものです。

また、そのできごとが、みなさんの頭の中にある日本の歴史年表の、どの時代のできごとかわかるように、日本歴史のできごともしょに並べました。

そのために、主として次の三つの資料を参考にしました。

- | | | |
|---|-----------------------|------------|
| 1 | 原始時代～1969（昭和44） | 五日市町郷土略年表 |
| 2 | 原始時代～1998（平成10） | 石内年表体郷土史 |
| 3 | 1985（昭和60）～2012（平成24） | 佐伯区の主なできごと |

五日市町のできごとは、石内での生活を考えるのに関係があると思えるものを取り上げさせていただきました。

これをもとに、この会の会員でこれまでに取り上げて調べたものを、検討して加えました。

この会が続く間は、これからの石内のできごとを毎年記録し続けたいものだと考えています。

石内をもっと知ろう会 発行

参考資料と資料の紹介

1, 「五日市町郷土略年表」(原始時代～昭和44年) 80ページ

この資料は、小学校3年生の「郷土の学習」の資料として、五日市町教育研究会の社会科部会の先生方が編集し、昭和44年に発行されたものです。市立中央図書館、石内公民館に原本があります。

2, 「いしうち年表体 郷土史」(原始時代～平成10年) 118ページ

この資料は、石内のできごとを記録するために、石内公民館の職員3名と石内地区の有志7名が作成委員になって編集、平成10年に発行されたものです。石内公民館に原本があります。

3, 「佐伯区の主なできごと」(昭和60年～平成24年)

この資料は、「佐伯区の概要」(29ページ)について、佐伯区役所市民部区政振興課が平成24年に発行したもので、その中の「3 佐伯区の主なできごと」としてのっている年表を参考にしたものです。市立中央図書館に原本があります。インターネットでも検索できます。

4, 「石内まちづくり協議会広報」1号(平成13年)～18号(平成18年)。

5, インターネットによる検索。

6, 平成23年に発足した「石内をもっと知ろう会」で、これまでに取り上げて調査したものも、いくつか入れています。特に人物については、この会で順次掘り起こし、話し合いながら追加できれば、と思っています。

石内をもっと知ろう会

会員名簿

平成23～25年度

番号	氏名	備考
1	大江 苑子	
2	岡 真由美	会計担当
3	奥田 耕司	事務担当
4	小田イツ子	会計補助
5	小田 昭三	会長
6	角 真知子	
7	吉川 邦子	
8	窪田 君男	事務局担当
9	倉本 徳幸	
10	田中 孝雄	
11	西本 忠良	事務担当
12	道添 富造	
13	谷口 武義	
14	加古川辰男	
15	加古川照子	
16	村田 稔充	
17	窪田 正義	
18	大原 鈴江	

平成26～ 年度

番号	氏名	備考
1	奥田 泰将	顧問（公民館長）
2	大江 苑子	
3	岡 真由美	会計監査
4	奥田 耕司	事務局担当
5	小田イツ子	会計担当
6	小田 昭三	
7	角 真知子	
8	吉川 邦子	
9	窪田 君男	
10	倉本 徳幸	
11	田中 孝雄	
12	西本 忠良	会長
13	道添 富造	
14	加古川辰男	
15	加古川照子	
16	窪田 正義	
17	大原 鈴江	
18	中島 壽洋	
19	中島 るり	

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各一字落としで記入
紀元前	原始時代			◎狩りや漁をしてくらす ◎石器や縄文式土器をつくる ★下沖5号遺跡から2万年前のナイフ形石器発掘市最古 ●五日市新宮山、(今の五日市小学校の校庭の辺り)八幡利松、高井付近に縄文時代の人々が住みつく ◎米をつくりはじめる ◎弥生式土器をつくる ●観音三宅、倉重、八幡保井田、寺田、高井、石内口和田、湯戸、付近に弥生時代の人々が住みつく
1世紀	国の始まり			◎日本にたくさんの国ができる ★石内の湯戸くらいまで入江で海の潮が満ちると川幅が広くなり、渡りの飛び石が百余り並べてあった(コーナン前の西法寺川の百石橋の所の百石記念碑の辺り) ●八幡村より南は細長い湾になっている ●八幡川は落合橋より、現造幣局前で海に流れる
2				
3				
4	大和時代の貴族の世の中			◎大和朝廷が日本の大部分を治めるようになる ★石内・八幡・観音へ住む人が多くなり古墳が作られる
5				
6		538		◎仏教が伝わる ○このころ巖島神社がつくられる
7		593		◎聖徳太子が十七条の憲法をつくる
		604		◎大化の改新がおこなわれる ●佐伯郡は阿岐の国に属す
		645	大化元	○山陽道(かげともの道)ができる
		685	天武帝14	◎都を奈良に定める
8	奈良時代	710	和銅3	○山陽道の国々に駅家を定める
		731	天平3	●このころ僧行基が下河内村の大杉を切って千手観音像をほり、極楽寺山に安置する
		737	天平9	

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落としで記入
9	平 安 時 代	752	天平勝宝4	◎東大寺に大仏をつくる
		782	延暦元	★石道村（石内村）ができる ★石道村に有井神社ができる ★水晶城の麓に宇佐八幡神社を勧請して臼山八幡神社ができる
		794	延暦13	◎都を京都に移す
		805	延暦24	◎最澄 天台宗を伝える
10		806	大同元	◎空海 真言宗を伝える
		807	大同2	●弘法大師が高井村に慈恩寺を開くという（五日市光善寺の前身）
		901	延喜元	◎菅原道真九州に流される
11		903	延喜3	★石内地区に「赤馬牛」の地名がある（赤馬牛は朝鮮系の赤牛）
		927	延長5	★伴村より石道村を通り八幡村に出る道路ができる
		1016	長和5	◎このころ藤原氏がはなやかなくらしをする
12		1146	久安2	○平清盛安芸の守に就任する（厳島神社信仰はじまる）
		1150	久安6	★石内に今市城、串山城（共に平家の城）ができる、水晶城（佐々木左衛門国正＝源氏）と戦う
		1164	長寛2	●このころ佐伯郡を佐東郡・佐西郡に改める
		1167	仁安2	◎平清盛が政治をとる
		1184	元暦元	★石道村より己斐村へ越す道路ができる ○海辺村（井口、草津、古江）に道路ができる
13	武 士 の 世 の 中	1185	文治元	◎平氏がほろぶ
		1192	建久3	◎源頼朝が鎌倉幕府を開く
		1221	承久3	●周防の前国司藤原親実厳島神社神主となり桜尾城に住む
		1223	貞応2	●厳島神社神主職争いで友田興藤が石道城をおとし入れた ●厳島神社神主職争いで大内方弘中水軍が五日市を焼いた
		1224	元仁元	◎親鸞浄土真宗を開く

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落としで記入
14		1235	嘉禎元	○藤原親実安芸の国守護職を兼ねる ○このころより廿日市は宮島の門前町として発達する
		1274	文永11	◎元がせめてくる（文永の役）
		1281	弘安4	◎元がせめてくる（弘安の役）
	室町時代	1333	元弘3	◎鎌倉幕府が滅び、後醍醐天皇が政治をとる
		1338	延元3	◎足利尊氏が室町幕府を開く
		1348	正平3	★有井城を有井三郎左衛門が石内につくる
		1392	明德3	◎南朝・北朝が一つになる
15		1397	応永4	◎足利義満が金閣寺をたてる
		1430	永享2	●このころ海老山下に湯蓋道空が住み、塩屋神社を建立勧請するという ●湯蓋道空は五日市塩田開発の人なりという ●湯蓋道空は長者となり厳島神社宮殿を再興したという
	室町時代	1440	永享12	★石内は武田氏の領地であった（銀山城） ○銀山城の武田氏と厳島神社の間で神領争いがはじまる
		1457	長祿元	★武田信繁石道村に城を築き教親（厳島神社）を攻める ★大内氏の援軍により武田軍が敗退する
		1467	応仁元	◎応仁の乱がおこる
		1491	延徳3	●口和田の正覚寺（天台宗滝珊山）真宗に改宗し（浄元山）となる
		1506	永正3	●高井にあった真言宗慈恩寺を真宗に改宗し光善寺とする
16		1515	永正12	●武田氏と厳島神社の神領争いが終わる
		1523	大永3	○大内義興安芸の国に出兵して廿日市・五日市を焼く
		1532	天文元	★天文年間に石内に狐が城・西ヶ城・京良木城・釈迦岳城ができる

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落としで記入	
17		1540	天文9	○このころ安芸の国でカキの養殖がはじまる	
		1541	天文10	★大内義隆が、厳島へ参詣する人々を対象に石内に新たな関所を設けて、通行税をとっている毛利、小幡、大塚氏に、それをやめさせる	
		1543	天文12	◎ポルトガル人が種子島に来て鉄砲を伝える	
		1546	天文15	●利松の慶雲寺（禅宗）を真宗に改宗して法専寺とする	
		1549	天文18	◎キリスト教が伝わる	
		1554	天文23	★石内の教専坊を真言宗から浄土真宗に改宗して浄土寺とする	
		1555	弘治元	○厳島の戦いで毛利軍が陶軍に大勝する	
		1573	天正元	◎室町幕府がほろぶ	
		安土・桃山時代	1576	天正4	◎織田信長が安土城にうつる
			1589	天正17	○毛利輝元が広島城をつくる、広島市の歴史がはじまる
	1590		天正18	◎豊臣秀吉が全国を統一する	
	1591		天正19	○毛利輝元が広島城に入城する	
	1600		慶長5	◎関ヶ原の戦い ●このころ厳島神社の社領56か所、石高合計5044石772合である、五日市関係分は八代、三宅、千塔、寺地、利松、五日市、石内にあり計214石625合	
	1601		慶長6	○福島正則が広島城に入り安芸・備後の領主となる（49万8213石） ◎検地をする ★石道村検地194町48畝、2239石7合	
	1603		慶長8	◎徳川家康が江戸に幕府を開く	
	江戸時代	1610	慶長15	○このころ草津でカキ養殖をはじめ	
		1616	元和2	○福島正則が改易され、浅野長晟が広島藩主となる	
1619		元和5	★石道村が浅野越前殿の知行所となる		
1633		寛永10	○広島藩は道路法を定め一里塚をつくる		

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落としで記入
18		1634	寛永11	○廿日市より井口までの西国街道の道普請が行われる
		1635	寛永12	◎参勤交代や身分のきまりなどができる
		1639	寛永16	◎鎖国をする
		1648	慶安元	★石内の貴船神社を穴が迫山に移す
		1655	明暦元	●この年から1710（宝永7年）の間に、未新開、蟹原新開、湯蓋新地等が埋め立てられ海老山と地続きとなる
		1658	万治元	●五日市村の南側に一大新開地海老塩浜ができる
		1661	寛文元	★石道村が石内村と改称する
		1663	寛文3	★庄屋白井清衛門が石内村の臼山八幡神社の神殿・拝殿を再建する
		1664	寛文4	●佐西郡を佐伯郡に改める
		1711	正徳元	★石内村2239石
		1732	享保17	○大凶作になり各地で餓死する者が多数出る
		1736	元文元	★石内村の熊野新宮を再建する
		1755	宝暦5	★石内村に浄安寺堂ができる、堂前の池は眼病に効くと伝えられる
19		1770	明和7	★石内村は浅野越前殿の給知となる ○このころの官道・西国路は東は広島境己斐村より西は周防境木野村まで ●このころ塩田がさかんになる
		1804	文化1	○宇高直助が安佐郡阿戸村（現在の安佐南区）の阿戸神社のそばに住み、道場を構え門弟に難破一甫流の指導を始める（これは平五郎・専三郎・是一と4代、大正まで100年にわたり、数百人が師事したと伝えられる）

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落として記入
		1819	文政2	○浅野藩は各村の地誌を書き出させる

五日市町関係次の通り

村 名	畝 数	石 高	戸 数	人 口	牛	馬	船
	町 畝 歩	石 合					
皆 賀	23・41・10	229・800	39	207	20	—	—
五日市	142・84・18	1・772・639	422	1・972	98	14	13
海老塩浜	58・86・24	669・652	58	305	11	—	6
中須賀	45・25・25	467・240	93	469	49	9	—
高 井	6・19・09	86・851	24	151	15	—	—
口和田	23・36・00	261・571	54	221	23	—	—
寺 地	9・98・00	113・100	27	116	15	1	—
利 松	23・87・09	414・830	47	219	22	4	—
寺 田	13・77・05	142・090	21	100	11	1	—
保井田	24・14・05	242・748	69	323	45	5	—
石 内	194・48・00	2・239・007	507	2・113	281	86	—
上小深川	22・96・24	306・140	73	324	36	3	—
下小深川	5・68・15	79・244	34	149	13	3	—
上河内	42・15・03	643・120	188	682	68	11	—
下河内	28・79・00	326・272	133	391	35	27	—
倉 重	40・51・04	454・965	82	369	39	4	—
千 同	39・31・02	436・320	83	380	46	2	—
坪 井	26・03・18	308・597	96	356	46	6	—
三 宅	35・13・22	310・683	77	338	40	4	—
屋 代	17・55・03	230・000	41	190	14	2	—
佐 方	64・35・06	755・842	104	738	33	4	—
合 計	888・67・22	10・490・711	2272	10・113	960	186	19

		1829	文政12	<p>★「蛇抜け」と言われる、高山からの大規模な土石流が吉合津川で発生、梶毛川との合流点付近にあった遊田家の家・屋敷を押し流し、祖父と孫2人の3人が死亡、中講の水田の畔に、その時流された「三つ石」と呼ばれる大きな岩が今も見られ、その災害後高台に移転された遊田家の屋敷跡には、「石内の3大屋敷跡」に入ると言われる、美しい石積みは今も残されている</p>
--	--	------	------	---

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各一字落として記入
		1853	嘉永6	◎ペリーが浦賀に来る
		1857	安政4	★半坂の山（現在の五月が丘）から石材を運んで、臼山八幡神社の鳥居ができる（現在の下の境内の鳥居）
		1858	安政5	◎日米通商条約を結ぶ
		1859	安政6	★白井盛太郎死亡、永井紐太郎が父盛太郎の塾を受け継ぐ（白井盛太郎は亀井津和野藩士の御船方として草津に居住、石内土井庄屋に請われて、下岩田氏宅にて塾を開く、後に臼山八幡西に居を構え門人の指導に当たる、門人210余名に及ぶという）
		1863	文久3	○飢きんがおこる
		1865	慶応元	★永井紐太郎の次男永井建子生まれる、幼名を庄三郎という
		1867	慶応3	◎江戸幕府がほろび、武家政治が終わる

新しい世の中	明治	1868	明治元	◎明治の世の中になる ◎明治天皇が五箇条の御誓文を示す
		1869	明治2	◎都を東京に移す
		1870	明治3	◎平民に名字を許す
		1871	明治4	○藩をやめて県をおく
		1872	明治5	◎東京・横浜間に鉄道が開通する
		1877	明治10	★常弘重右衛門と孟氏が宮島から大日山金剛院を石内にうつす ★石内に石飛分校（場所不明）と丸山分校（下沖）をつくる
		1878	明治11	★丸山分校をやめて、丸山小学校（石内小学校のはじめ）ができる
		1880	明治13	★石内村村議会を設立する
1881	明治14	★石内村の浄土寺を建てなおす		

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落として記入
		1882	明治15	●寺田郵便局ができる（八幡）
		1885	明治18	★半坂のかげともの道辺にあった旅籠「上野屋」が宮島口に移る（明治30年開通の山陽鉄道宮島駅であなご弁当を売り出し、明治34年「あなごめし うえの」を創業する）
		1887	明治20	★丸山小学校を丸山分教室にして、石内簡易小学校をつくる
		1889	明治22	◎大日本憲法が発布される ●町村制が行われ各村が合併して、石内村、河内村、八幡村、観音村、五海市村ができる ★石内村と保井田村、口和田村の一部が合併して石内村となる、初代村長は土井雅雄 ★石内村村役場を新築する ★石内簡易小学校を字曲崎（現石内小学校敷地）に新しく建ててうつる

			1891	明治24	★修業年限を3か年にして、石内尋常小学校にする
			1892	明治25	○中国新聞社ができる
			1894	明治27	◎日清戦争がおこる
					○広島市に電灯がともる
			1896	明治29	★石内尋常小学校は修業年限が4か年となる
			1897	明治30	○山陽鉄道（広島～徳山間）が開通する
			1899	明治32	●五日市簡易停車場をつくる ●駅の近くに運送店ができる ●五日市の平本油店ではじめて自転車を使用する ●このころから海老山の下に海水浴場ができる
			1900	明治33	○郡制がしかれる ★石内尋常小学校に高等科をおいて、石内尋常高等小学校にする（明治39年開校の五海市尋常高等小学校では尋常科4年・高等科4年と記述されている）

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★でできごとを各1字落として記入
----	----	-----	-----	------------------------------

20	1901	明治34	◎九州の八幡製鉄所が仕事を始める ○広島市に電話がつく
	1902	明治35	★石内地区では難破一甫流を父甚八について修練した大下形次郎がその第一人者として、牛馬商のかたわら、多数の門弟を指導する（平岩に記念碑が残されている） ★細末佐吉が商標登録「第一化学薬剤及び医療補助品一切」を取得し細末商会を石内で起こす
	1903	明治36	○乗合自動車が可部と横川の間を走る
	1906	明治39	◎山陽鉄道が国有鉄道になる
	1907	明治40	★石内村村長野上寛吾が県知事から表彰される
	1908	明治41	★石内村の有井・貴船・熊野・松丸神社を臼山八幡神社に合祀する ★各小学校が尋常科6年高等科2年になる ★石内村に隔離病舎ができる
	1910	明治43	★ロンドンで行われた日英同盟記念親善博覧会に、永井建子を楽長とする陸軍軍楽隊の精鋭35名が、5月から10月までの半年間にわたり、世界一流の各国吹奏楽隊と連日交換演奏をし、その技術のすばらしさ礼儀正しさが賞賛され、音楽による国際親善に尽くした日英博覧会より陸軍軍楽隊にグランドプライズ（最高大賞牌）を、総裁コンノート親王殿下より永井建子に銀製の記念指揮杖を下賜される
	1911	明治44	★永井建子総裁コンノート親王殿下より銀杯が贈られる 永井建子が明治天皇に単独拝謁 ●海老塩浜の塩づくりをやめる
	1912	明治45	◎明治天皇がなくなり、明治の世がおわる ★湯戸の豪農の家で新藤兼人が生まれる

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落としで記入	
	大 正	1912	大正元	◎大正の世がはじまる ★石内村の高山に杉・松を植林する ★3年計画で石内村の主幹道路をなおして県道にする ★石内村金剛院本堂を建てなおす	
		1914	大正3	◎第1次世界大戦がおこる ★石内信用販売購買生産組合ができる	
		1915	大正4	★石内村に電灯がともる ★石内村の県道改修工事ができあがる	
		1916	大正5	★村役場を臼山に新築する	
		1917	大正6	★細末豊太郎が同じ商標登録を取得し、細末商会を引き継ぎ蚊取り線香、殺虫剤、黄粉等の製品を国内のみならず、朝鮮半島、台湾、アメリカ等にも輸出し、大下回春堂との取引もあったようである	
		1918	大正7	●五日市郵便局で電報の仕事をはじめ	
		1919	大正8	●五日市で自動車を使い始める	
		1923	大正12	◎関東大震災がおこる ●砂谷・五日市間の郡道が県道になる ●八幡でバスが通り始める	
		1924	大正13	○電車が通り始める（草津～廿日市間） ●五日市の電車站の近くに家が建ちはじめる ●このころから蚕をかう家が多くなる	
		1925	大正14	◎ラジオ放送がはじまる（東京）	
		1926	大正15	●五日市に電話がつく ★五日市～石内間を乗り合いバスが走り始める	
		昭 和		昭和元	◎大正天皇がなくなり、昭和の世の中になる
			1927	昭和2	◎世の中が不景気になり失業者がふえる ●五日市でタクシーを開業する ●五日市簡易水道組合をつくる

世紀	時代	西 曆	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落として記入
		1928	昭和3	○広島中央放送局ができ、広島でラジオ放送がはじまる ●楽々園あたりの埋め立てをはじめ ●海老山西下を埋めて、湯蓋新地をつくる
		1929	昭和4	●海老塩浜沖の新地をつくる
		1930	昭和5	●このころから子供が洋服を着はじめる ★石内村巡査駐在所を旧役場横に新築する
		1931	昭和6	◎満州事変がおこる
		1932	昭和7	◎犬養首相が殺される（5・15事件） ★石内村信用組合病院を開設する
		1934	昭和9	●このころから吉見園に家を建てはじめる ●海老山南下を埋めて月見が浜新地をつくる
		1935	昭和10	★各小学校に青年学校を設ける ●国道2号線ができる（現在の区役所前の通り） ●このころから楽々園あたりに家を建て始める
		1937	昭和12	◎日華事変がおこる ●五日市役場を今の区役所の位置に移す ●楽々園遊園地ができる
		1938	昭和13	●明治製菓工場ができる
		1940	昭和15	◎政党を解散して大政翼賛会をつくる ★紀元2600年記念事業を行う、二宮尊徳像をつくる ★陸軍軍楽隊第六代楽長として活躍し、日本の洋楽・吹奏楽の先駆者、日本の交響楽の開拓者として、日本音楽界に多くの貢献をし、多くの歌曲、吹奏楽典、絵画を残した永井建子が昭和15年3月13日76歳で広島市西区古江515番地で逝去、陸軍一等楽長、正六位、勲五等双光旭日章受章
		1941	昭和16	★小学校を国民学校と改正初等科6年高等科2年とする ◎太平洋戦争がおこる
		1944	昭和19	◎日本本土の空襲がはげしくなる

紀元	時代	西 曆	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落として記入
		1945	昭和20	<ul style="list-style-type: none"> ●八幡村の中地の山あいの田に米軍機が落ちる ○広島市に原子爆弾が落とされる ○市内の焼け残った国民学校で原爆のけが人を救護する ★石内では浄土寺でけが人の救護をする ◎ポツダム宣言をうけいれて太平洋戦争が終わる ●造幣局広島支局が揚にできる
		1946	昭和21	◎日本国憲法が公布される
		1947	昭和22	<ul style="list-style-type: none"> ◎6・3制の新しい教育が始まる ◎各国民学校が各市町村立小学校になり6年までになる ●新制中学校、石内村、河内村、八幡村学校組合立八幡中学校ができる ◎マッカーサー指令により農地改革が行われる ●農業会を解散しそれぞれの町村に農業協同組合をつくる
		1948	昭和23	●八幡中学校を三和中学校にする
		1949	昭和24	●八幡村の利松に八幡青果市場ができる
		1950	昭和25	<ul style="list-style-type: none"> ◎朝鮮に動乱がおこる ★石内農協に簡易郵便局ができる
		1951	昭和26	<ul style="list-style-type: none"> ◎サンフランシスコで平和条約を結ぶ ○広島県で国民体育大会が開かれる
		1952	昭和27	<ul style="list-style-type: none"> ●各市町村に教育委員会ができる ●鈴峯ゴルフ場ができる ★石内村立保育所を開設する ★昭和27年度卒業生が川土手に桜47本を植樹する
		1953	昭和28	<ul style="list-style-type: none"> ◎テレビ放送（東京）が始まる ★石内村公民館を石内小学校内に開館する
		1954	昭和29	<ul style="list-style-type: none"> ●八幡村の郡橋を鉄筋の橋にする ●海老園新地をつくる ●藤垂園に家を建てはじめる
		1955	昭和30	<ul style="list-style-type: none"> ●五日市・観音・八幡・河内・石内の5か町村が合併して五日市町をつくる 人口22,781人 ★石内小学校を五日市町立石内小学校と改称する ★石内をバスが通りはじめる

世紀	時代	西 曆	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落として記入
		1956	昭和31	◎ソ連と国交が回復する ◎国際連合に加盟する ○広島でテレビ放送がはじまる (NHK)
		1958	昭和33	●五日市町が消防自動車を購入する ◎関門国道トンネルができる
		1959	昭和34	●旧村役場を公民館にする
		1960	昭和35	◎カラーテレビ放送がはじまる (東京)
		1961	昭和36	●広島工業大学ができる
		1962	昭和37	★石内公民館を改築する ★石内小学校にプールをつくる ●電報・電話局ができ電話が自動式になる ●五日市町人口調査をする 10月1日現在25,569人
		1963	昭和38	◎日本各地に大雪がふる ●町にごみ収集車をそなえつける
		1964	昭和39	◎東海道新幹線が開通する ◎第18回オリンピック東京大会が開かれる ●臨海土地造成で11万坪の埋立地を楽々園沖につくる ●救急車を消防署におく ★ごみ焼却場を石内の笹利につくる ○山陽本線が電化する (広島~徳山間) ●国鉄五日市駅を改築する
		1965	昭和40	★石内小学校に体育館をつくる ●農業協同組合が合併する ●信号機を国道にとりつける ●国勢調査により五日市町の人口31,993人 ○広島民衆駅ができる
		1966	昭和41	●八幡に寺田無人電話局ができる ●八幡バス通りの道を舗装する

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落として記入
		1967	昭和42	●五日市南小学校を新設する ★笹利に見真学園を開園する
		1968	昭和43	★五日市農業協同組合石内支所を新築する
		1969	昭和44	●1月1日現在で五日市町の人口40,101人になる ◎アポロ11号 月面着陸に成功する
		1970	昭和45	◎大阪万博が開幕する
		1971	昭和46	◎沖縄返還協定に調印する ○西広島バイパス（己斐～五日市波出石間）が開通する ★石内小学校鉄筋3階建て校舎新築落成する ★石内地区が市街化調整区域に編入される
		1972	昭和47	◎日中の国交が回復する ★笹利に自然の村が開園する
		1973	昭和48	○広島修道大学が西区観音から沼田キャンパスに移転する ★石内神原のシダレザクラが広島県天然記念物に指定される
		1974	昭和49	●広島県立五日市高等学校が開校する
		1975	昭和50	◎山陽新幹線が開通する ★石内保育所を新築移転する ★石内農協支所を増築する
		1976	昭和51	●白ヶ瀬浄水場が河内にできる ★新宮山荘（老人憩いの家）を開設する
		1977	昭和52	★五月が丘小学校を開校する
		1978	昭和53	★石内公民館を新築する
		1979	昭和54	★五日市農協石内支所を新築落成する
		1981	昭和56	●美鈴が丘小学校が開校する
		1982	昭和57	★五月が丘中学校が開校する ★浄安寺本尊薬師如来像が五日市町重要文化財に指定される

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落として記入
		1985	昭和60	◎日航機御巣鷹山に墜落する ○山陽自動車道が開通する ○広島市立沼田高等学校が開校する ●五日市町が広島市に合併、8番目の区佐伯区が誕生する ●三和中学校から分離し美鈴が丘中学校が開校する ●老人ホーム千歳園（山田新町）が開設される ★五月が丘公民館が開館する ★原田～草津道路が開通する
		1986	昭和61	●佐伯消防署が完成し業務を開始する ●国鉄五日市駅新駅舎が落成する
		1987	昭和62	◎国鉄民営化でJRが発足する ●三和中学校から分離し城山中学校が開校する ●五日市駅自由通路が開通する ●吉見園埋め立ての、船上での起工式をする ○広島西警察署が開署する
		1988	昭和63	○広島市立美鈴が丘高等学校が開校する ◎瀬戸大橋が開通する ●佐伯区民文化センター・佐伯区図書館が開館する
	平成	1989	平成元	◎昭和天皇が亡くなり、平成の世がはじまる ★五月が丘児童館が開館する
		1990	平成2	●藤の木小学校が開校する ●五日市駅北口広場の整備が完成する
		1991	平成3	●佐伯区スポーツセンターが開館する ○台風19号で風と塩害による大きな被害を受ける ★中国そごう都市開発・日本鋼管不動産より「仮称石内総合文化センター建設用地の提供」を受ける
		1992	平成4	●藤の木公民館・藤の木児童館が開館する
		1993	平成5	◎皇太子と雅子さまが結婚される

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落としで記入
		1994	平成6	<ul style="list-style-type: none"> ○広島市立大学が開校する ○アストムラインが営業を開始する ★石内バイパス（石内地区内）が開通する ◎第12回アジア競技大会広島大会が広域公園を主会場に広島で開催される
		1995	平成7	◎阪神・淡路大震災が起こる <ul style="list-style-type: none"> ●五日市駅北口再開発事業が完成する
		1996	平成8	<ul style="list-style-type: none"> ★石内バイパスが全線開通する ●五日市駅自由通路に佐伯区民ギャラリーがオープンする ○ひろしま国体（第51回国民体育大会）秋季大会が開催される <ul style="list-style-type: none"> ○おりづる大会ひろしま（第32回全国身体障害者スポーツ大会）が開催される ★文化財収蔵庫（プレハブ）をつくる
		1997	平成9	<ul style="list-style-type: none"> ●「水鳥の浜公園」が開園する ●五日市駅南北自由通路にエスカレーターが設置される ●特別養護老人ホームやすらぎの里（五月が丘）が開設される ★石内川の改修工事（ふるさとの川）が完了する ★石内福祉センターを開設する ★中島ミスノ明治35年2月5日生まれ、昭和6年3月29歳で産婆の資格を取得し産婆開業、昭和41年まで35年間にわたり石内地区で産婆を務め、その記録によると1009人の出産を手掛け、石内では多くの人がお世話になった人 平成9年1月31日94歳で逝去
		1998	平成10	◎冬季オリンピック長野大会が開幕する <ul style="list-style-type: none"> ○広島市立大学大学院・広島平和研究所を開設する ★石内南に広島県免許センターを開設する
		1999	平成11	○6, 29集中豪雨で佐伯区では上小深川、神原で大きな土砂災害が発生する

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落として記入
21		2000	平成12	◎高橋尚子シドニー五輪女子マラソンで金メダル
			平成13	○芸予地震で屋根瓦の崩壊が各地で起こる ●広島はつかいち大橋が開通する ★梶毛ダム付け替え道路工事、生活再建地工事完了する ★梶毛ダム本体工事12月19日着工する ★草津・沼田道路と石内南を結ぶ外環状線工事の一部を着工する ★日本鋼管不動産提供のセンター建設用地登記移転を完了する
		2002	平成14	◎日本人拉致被害者5人が24年ぶりに帰国する ●五日市駅前陸橋が開通する ●五日市火葬場を改築して使いはじめる ★石内公民館でホテル講習会（5回）を実施して、石内公民館、石内小学校、地域の有志が、ホテルの里づくりに取り組む
			平成15	★6月9日梶毛ダム本体工事定礎式をする ★特別養護老人ホーム石内慈光園を開設する
		2004	平成16	★佐伯区女性会いしうちEM普及会を結成し、活性液・EM団子による石内川の浄化に、毎年数回取り組む ★車のドア製造等のヒロテック本社工場（従業員600人）が石内南に移転してくる ★神楽保存会を結成し話し合い、4年ぶりに神楽を復活する、団員不足解消のため中組だけでなく石内全域から団員を募集することにする
			平成17	◎尼崎のJR西日本事故で107人が死傷する ◎郵政民営化法案が成立する ●湯来町をを佐伯区に合併する ★永井建子記念碑の除幕式・竣工式を開催する ★石内地区「緑のプロムナード」（散歩道づくり）に17・18年度に取り組み、公民館前に史跡・名所の「総合

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各1字落としで記入
				案内板)、各史跡・名所に「資源説明板」を設置する ★「石内まちづくり基本構想」を17・18年度にまとめる
		2006	平成18	★梶毛ダム管理事務所周辺の環境整備に16～18年度に取り組み、サクラ・モミジ・モミノキ等の高木、ツツジ・コグマササ・マツバギ等の低木の植樹、歩道の舗装、照明灯、手洗い場、水飲み場等を整備する
		2007	平成19	★社会福祉法人それいゆの会が障害者施設「いしうちの森」を開設する ★石内福祉センターへの外環状線からの進入路完成
		2008	平成20	★新藤兼人監督を迎え、新藤兼人監督生誕碑・映画「石内尋常高等小学校花は散れども」完成記念碑二つの除幕式と、映画完成記念祝賀会を開催する ★映画完成記念碑そばに、映画に出演した6年児童、保護者、地区住民の記念の品をタイムカプセルに入れて埋める、6年の児童が成人する年に開封の予定
		2009	平成21	★梶毛ダムを「神原湖」と命名して、竣工式を開催する ●湯来バイパスが開通する ●五日市駅南北自由通路北側にエレベーターを設置する ★石内小学校に鉄筋3階、屋上プールの新校舎が完成する
		2011	平成23	◎東日本大震災・大津波・福島第一原発事故の災害が起こる
		2012	平成24	●佐伯区役所別館がオープンする ★石内バイパス横断歩道橋が完成する ★新藤兼人は映画監督として多くの名作を残し、数々の賞に輝き、勲四等旭日小綬章、文化勲章を受章、谷本清平和賞受賞、広島県名誉県民、広島市三原市名誉市民に、平成24年5月29日100歳で逝去、従三位に叙せられる

世紀	時代	西 暦	年 号	日本◎広島○五日市●石内★できごとを各一字落として記入
		2013	平成25	◎2020年の東京オリンピック開催が決定する ●佐伯警察署が開庁する ★湯戸・下沖地区の区画整理事業が完成し、ホームセンターのコーナンやスーパーのマックスバリュウ等の商店街が開店する ★原田から西区山田へかけての開発が進む ★石内川親水護岸に桜を植える
		2014	平成26	○広島市安佐北区・安佐南区で集中豪雨により土石流・がけ崩れが発生し、土砂災害で多くの家屋が倒壊し死者74名の大災害が起こる ◎御嶽山が噴火して登山者58人が死亡、行方不明者5名の戦後最大の火山災害が起こる

石内村歴代村長

代	氏 名	在 任 期 間	生 年 月 日
初 代	土井 雅雄	明治22. 6. 5～明治26. 5. 30	安政 4. 12. 26
二 代	野上 寛吾	明治26. 5. 31～明治43. 6. 11	嘉永 3. 1. 9
三 代	谷口 穰	明治43. 6. 13～明治43. 7. 29	元治元年. 6. 14
四 代	紙野 和市	明治43. 8. 15～大正14. 8. 7	明治 7. 9. 11
五 代	沖村 一郎	大正14. 9. 22～昭和 4. 9. 21	明治17. 4. 4
六 代	丑田 茂	昭和 5. 1. 9～昭和21. 4. 15	明治20, 5, 1
七 代	吉田 雅登	昭和21. 10. 10～昭和22. 9. 3	明治23, 7, 25
八 代	八木新太郎	昭和22. 9. ~昭和24. 7.	不明
九 代	仲田 繁	昭和24. 9. 4～昭和30. 3. 31	明治36, 7, 1